

事業所職員向け 児童発達支援 自己評価表

令和5年度 常勤職員4名・非常勤職員2名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		児童の様子に合わせて、スペースを配分し補っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		・空間は限られているがその中で可能な限り工夫している。 ・トイレ等、完全バリアフリーではないが職員が配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	常勤以外は書面での確認、参画をしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		研修の日程を共有し、参加できた場合は、レポートにまとめている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		工夫はしているが、固定化しているものもある。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	1	・個に応じた対応や支援をしている。 ・集団療育のため基本的には集団活動を前提にしているが、場面により対応している。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	・毎日行っている。 ・午前のコースは行っているが、午後のコースはできていないこともある。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		
19	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		電話や書面が多い。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在は医療的ケアが必要な児童の利用がない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			現在は医療的ケアが必要な児童の利用がない。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・コロナ禍で見学ができていない。 ・保護者から各所への提出の書類の作成は行っている。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	・コロナ禍で見学ができていない。 ・小学校への直接の情報共有はしていないが、様々な情報を保護者へ提示している。 ・保護者から依頼され小学校への提出書類の作成は行っている。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		・年に一度、情報交換を行いながら、助言や研修を受けている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	・外出中挨拶したり同じ空間にいることがある。 ・公園等で接する機会がある。 ・公園等で交流がある。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	5	
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	4	・行う予定がある。 ・懇親会や評価面談の際に、一部紹介している。 ・家族支援プログラムの実施は行わなかったが、職員が、ペアトレ等の研修を受講し共有した。	
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		・コロナ禍で中断していためるへんtimeを年2回行い、懇親会を実施した。 ・めるへんtimeの中で保護者同士の交流がある。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・めるへん通信の発行。 ・プリントでのお知らせ。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	・コロナ禍で実施ができていない。 ・地域の中学校の職業体験の受け入れ。

非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	防犯マニュアルについては未確認。他は訓練や対応を周知し、感染症はその都度確認している。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		外部、内部職員による研修を設け、全員参加した。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1	長期的ではなく、危険が予測される状態が短期間（一時的）であり、保護者の了解は得た。